



僕たち・私たちの夏の思い出！フォト日記

平和・連帯・食育、子どもたちの夏の体験

共生平和 長崎自転車隊



今年、台風の進路を気にしながらの出発になりました。「いのち」がどんなものより尊いものだということを出発式で再認識しました。涼しかったからか、余裕で自転車に乗っているように見えました。二日目の日見峠の走行ができなかったのが子どもたちにはとても残念なようでした。

8月9日、爆心地公園で、親子で平和の集いに参加して黙祷することができました。中学生の子どもと同じ事を聞き学習できた事はとても良かったと思います。

(参加者保護者 山上明美さん)



きつかったけど、すぐ達成感があった

8月8日(金) 天気くもり
僕は初めて銀輪隊に出ました。1日目に100キロ近く走ったので走りきったのが良かったです。でもきつかったのがありました。でもすぐ達成感があったので良かったです。二日目は、天候の事もあって日見峠を上らずにバスで飯茶屋まで移動。とても残念でしたが、移動後の爆心地公園での黙祷は新鮮でした。長崎にいても平和公園で黙祷することはないからです。とても良い体験ができたのでできれば来年も出たいです。
(中学二年 細山田 瑞)

ネグロス 青少年ツアー



一生懸命と温かさに打たれました

正直なところ、なぜネグロスツアーに参加するのか、自分ではよくわからないまま、出発しました。ネグロにまず驚きました。もちろん、いかに自分たちが日本で恵まれた生活を送っているのかということも実感しましたが、それ以上に、そういう環境の中で生活しているフィリピンの人たちに打たれました。苦勞の中で生活しているだけに、他人に対する生活し見習いたいと思えます。
(高校一年 廣瀬 知登)

私自身、大学生の時にネグロスに滞在する機会があり、本当に人生が変わりました。短いとはいえ、子どもに同じような機会を与えてくださり、感謝しています。
(参加者保護者 廣瀬 訓さん)



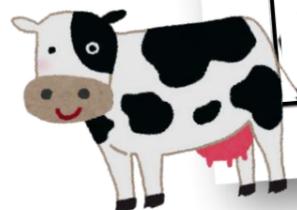
酪農ホームステイ



子牛にミルクをあげるのが楽しかった

7月19〜21日 熊本にて私は、体験の中で、子牛にミルクをあげるのが楽しかったです。そして、朝早く起きてたくさんのお世話やそうじを朝さんのお世話もしたいけれど、夕方の2回もしたいけれど、酪農家の人はたいへんだなと思いました。たくさん牛の種類も知ることができました。牛の目も大きくてきれいでした。私は新しい友達もできました。私は新しい友達もできているような体験もたくさんできて楽しかったです。
(小学五年 上田みち)

「牛のあかちゃんかわいかった！」と元気いっぱいに帰ってきました。私自身も牛に触れ合っただけでなく、「体験することは大事」だと思いました。とても充実した三日間だったようです。
(参加者保護者 上田朝美さん)



核兵器のない世の中を目指したい



8月9日(金) 天気くもり
今回で2度目の自転車隊の参加でした。全く知らない人達と3日間を共に過ごし、苦しみ喜びを分かち合いました。小長井の坂の上り下りの繰り返しはとてもつらかった。徐々にペダルが重くなり休場所では歩こうとすると足がフラフラし、いす事をきかなくなりました。戦争にあってきた人々の苦しみはこんなものではない。全く関係のない人々までも「いのち」をうばう戦争。私は「不戦」を掲げ走りぬいた。核兵器のない世の中を目指したいと思いました。
(中学二年 原 愛優)

今年も平和について学びました



8月9日(金) 天気くもり
今年も友達を誘って参加しました。柳川での出発式では改めて戦争について学ぶ事ができました。自転車の走行は、坂で速度を調整しないといけないのが大変でした。雨もひどくなってよかったです。でも日見峠を走ることができなかったのがとても悔しかったです。原爆中心地で黙祷して、今年も平和について学びました。
(中学二年 山上颯太)

